

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス 粉河青空		
○保護者評価実施期間	2025年 10月 22日		～ 2025年 11月 7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29名	(回答者数) 22名
○従業者評価実施期間	2025年 10月 22日		～ 2025年 10月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 11月 13日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・小学生のみを対象としているので、子どもたちに合った活動を行えること。	・6年生を中心として、子どもたちが安全に楽しめるように活動内容を考えています。	・子どものやりたい事を見つけて、一緒に取り組み、楽しい活動を行っています。
2	・施設内に外あそびができる場所が確保できていること。	・少しの時間だけでも外に出て体を動かしてあそべるように声かけをしています。	・からだを動かしてあそび、自分のからだの動かし方を身に付けていけるような、あそびを増やしていきます。
3	・地域との交流が出来ているので、理解を得られていること。	・散歩に出かけた時には、元気いっぱい大きな声であいさつをし、地域の方々に見守ってもらっています。 ・粉河まつりの太鼓の演奏を聞かせてもらったり、体験もさせていただいています。.	・地域の方々との交流の場をたくさん作っていきます。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・安全対策についての、職員の認識不足。	・職員体制、配置についての確認不足。 ・子どもの行動の理解不足	・職員体制、配置の再確認とともに、子どもの理解、職員同士での話し合いを行い、対応の仕方を考えていく。
2	・職員体制の面で、地域小学校へのお迎えが難しいこと。	・保護者の送迎をお願いしています。	・職員を確保していきます。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス 粉河青空

公表日 2026年2月4日

利用児童数 29名

回収数 22名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	19	0	0	3	・新しい場所に移動してから、室内を見ていない。 ・室内、室外ともに狭すぎず、目の届く丁度いいスペースだと思います。 ・外遊びできる場所もあり、良いと思います。	・平屋の作りで、室内は扉を外しているため、一つの空間になっています。静養室も設けています。外遊びも十分に出来るスペースがあります。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	17	3	0	2		・子ども3～4名に対して1名の職員を配置しています。それぞれが、必要な研修を受けて活動しています。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13	1	0	8		・子どもたちに分かりやすい活動の流れを作り、職員が自ら動き、声かけを行いながら、活動を進めています。 ・条例に基づいて、バリアフリーを行っています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14	1	0	7	・本人にとって不自由なく、過ごせています。	・子ども達と一緒に掃除を行いながら、清潔な環境を整え、居心地の良い場所である事、活動しやすい空間にしています。
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	17	3	1	1	・満足していますが、勉強したい。と思うときに学習時間が取れると嬉しいです。	・定期的に会議を行い、子どもたちの様子を話し合い、共有し、子どもの特性に応じた支援を行っていきます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	19	3	0	0		・支援プログラムをもとに支援計画を立て、計画に基づいて、支援を行っていきます。
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	22	0	0	0		・子どもたちとの関係を築いて、理解し、ニーズや課題を受け入れて、支援計画を作成してまいります。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	21	0	0	1		・ガイドラインに基づき、本人支援、家族支援、移行支援を具体的に分かりやすい支援計画を作成していただけるように、努力してまいります。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	21	1	0	0		・職員全員で計画を共有し、話し合いを行いながら、計画に沿った支援を行ってまいります。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	15	5	0	2	・様々なことを経験させていただいて、感謝しています。	・定期的に子どもたちの様子を職員全員で話し合いながら、子どもの成長に合わせた計画を立ててまいります。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	11	7	1	3	・現時点で、あまり必要性を感じていません。	・粉河祭りの太鼓体験では、地域の子とも達も来てくれて、太鼓を教わりました。交流の機会を増やしていきたいと思えます。
保 護 者 へ	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	20	1	0	1		・入所前の説明会や、見学の際に、説明を行っています。わからないことがあれば、いつでも相談してもらえるような関係作りをしています。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	19	2	0	1		・誕生日に合わせて、面談を行って、計画を立て、支援計画の確認を頂いています。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10	6	1	5		・プログラムはありませんが、保護者、家族に応じた助言や支援を行ってまいります。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	15	5	2	0		・送迎時などに、保護者に子どもの様子を伝え、共有・理解できるように努力してまいります。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16	5	0	1		・親子イベントや学習会を行い、心配事や不安なことを相談してもらえようように、より良い関係作りを努めてまいります。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	20	0	1	1		・保護者の気持ちに寄り添いながら、共感してもらえる関係作りを行ってまいります。

の 説 明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	17	2	0	3	・支援はあるが、ほとんど参加できていない。	・親子イベントへの家族での参加、保護者同士の交流の場を設けて、関係性を深めていきたいと思っています。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	17	1	1	2		・いつでも相談してもらえるように体制を整えています。相談員とも連絡を取り合って、対応していきます。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	19	1	2	1	・事業所のことをもう少し連絡ノートに記入して頂けたら、嬉しいです。	・連絡ノートに記入するだけでなく、送迎時に直接伝えていきます。電話やラインなどを利用して、保護者との連絡をとっていききたいと思います。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	18	2	0	2		・月に一度、お便りと予定表を配布しています。事業所評価や自己評価の結果も伝えていきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	21	0	0	1		・個人情報の取り扱いについては、個人で持ち帰らないことや、口外しないこと、情報を破棄する場合は、シュレッターにかけるようにしています。
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	18	2	1	1	・訓練をしているのは知っていますが、それぞれのマニュアルの内容などは、知りません。	・事故防止マニュアル、防犯防止マニュアル、感染症マニュアル、をさくせいしています。マニュアルを元に訓練などを計画、実施しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	19	1	0	2		・非常災害についてのマニュアルを作成しています。避難場所の避難回路の確認し、避難訓練に取り入れています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17	2	1	2		・支援計画説明時に避難場所を伝え、その時の対応などを説明していきます。避難訓練を通して、子どもたちが安全に行動出来るように支援していきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17	2	1	2		・電話やライン、連絡ノートで連絡しています。病院受診が必要な時は、保護者に報告、確認の連絡をしてから、病院の受診を行います。後日、改めて自宅訪問をさせていただくこともあります。
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	20	1	0	1	・粉河青空を利用してから、夜のバニックが減りました。	・落ち着いて過ごせる場所、安心できる場所になるように、環境を整えていきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	20	2	0	0	・お友達と会えるのがうれしいと話してくれます。	・好きなあそびができる場所、楽しく過ごせる場所になるように、日々の活動を行っていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	19	2	1	0		・保護者との連絡を密にし、信頼していただけるように支援していきます。希望に沿った対応をしていけるように、努力していきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス 粉河青空		公表日		2026年2月4日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0	・利用児3～4名に対して1名の職員を配置しています。外出する際には、職員を増やして活動を行っています。	・利用児3～4名に対して1名の職員を配置していますが、個別対応が必要な児に対しての職員を配置も行っていきます。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	・出入口は1か所のみ、子どもたち活動しやすいように、おもちゃなどを配置しています。出入口のスロープやトイレもバリアフリーに対応しています。	・子どもたちに分かりやすいような配置を行っています。設備等は、状況に応じて、対応していきます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	・活動終わりに、子どもたちと一緒に掃除を行っています。活動終了後、職員による掃除、消毒を行っています。	・室内は扉を外し、広い1つの空間になっています。屋外もボール遊びなどを楽しめる空間になっています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	・個別の部屋も確保しています。必要な時は、いつでもその部屋にいき、落ち着くまで、過ごすことが出来るようになっています。	・個別の部屋を準備しているため、その部屋に入って過ごすことができるようになっています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	1	・パート職員も参加した、事業所の会議で話し合いを行っています。	・職員全員で意見を出し合っ、業務改善に向けた話し合いを行っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・評価表による、保護者の意向、要望を受け入れ改善する努力をしています。	・保護者とのかわりの中で、要望を伝えやすい関係性を作っています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・事業所内で行う会議などで、職員の意見を聞き、事業内容を改善して行きます。	・事業所での自己評価の結果を受け、職員の意見を把握し、改善していきます。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	0			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	・法人内では、職員それぞれの立場にあった研修を受けています。外部から講師を招いての研修やリモートでの、研修も行っていきます。	・個人的なスキルアップも積極的取り組んでいます。	
適切なサポート	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	・ホームページに公表しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	・職員全員で話し合いを行い、アセスメントを作成し、保護者との面談の中で、希望や課題を聞き、支援計画を作成しています。	・保護者のニーズと本人の意向を反映した支援計画を作成していきます。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	・職員全員で話し合いを行い、子どもたちの利益を確保するように、検討しています。	・子どもたちの様子を見ながら、職員間で意見を出し合い、その子に合った最善の支援を行っています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	・職員全員が、いつでも見れる場所に保管しています。職員間で共有し、支援を行っています。	・職員全員で子どもたちの成長を喜び、支援計画を作成してともに支援していきます。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	・日々の活動を記録し、アセスメント作成時に使用し、確認も行っていきます。	・相談員との面談にも参加し、子どもの様子を把握して、その都度、確認していきます。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	・放課後等デイサービスガイドラインに添った支援内容になっています。	・より具体的に、保護者の方に分かりやすいように支援内容を説明していきます。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	・定期的に職員会議の中で、話し合いを行い、活動内容を考えています。	・活動に合わせて、担当を決めて職員全員で支援内容を考えていきます。	

支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	・子どもたちの要望に合わせて、内容を検討しています。	・毎日行っている朝礼や終礼の中でもやりたい活動を聞き、取り入れていきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	・個別活動の日を多くとっていますが、集団活動を中心とした日も設けて、少しずつでも集団活動に入っていけるように、支援しています。	・子どもの得意、不得意を知り、苦手なかつどうにも参加していけるよう支援し、個別活動でも集団活動でも楽しめるように支援していきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	・毎日、朝礼を行い、活動内容を確認しています。職員同士で、協力して活動を行っています。	・当日のリーダーのもと、タイムスケジュール、活動内容、役割分担の確認を行っています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	・活動終わりには、全員揃わないので、次の日に反省を行っています。	・子どもたちの様子を振り返り、支援内容の検討も行っています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	・日々の活動を記録し、支援の改善に繋げていきます。	・個々の活動を記録し、子どもの様子を知り、支援のかいげんに繋げていきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	・相談員からのモニタリングも取り入れて、放課後等デイサービス計画を適切に見直しています。	・モニタリングを行い、支援計画の見直しの必要性を判断していきます。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	6	0	・4つの基本活動を組み合わせながら、支援活動を行っています。	・日々の活動の中に、「4つの基本活動」を組み合わせて、支援を行っています。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	・主な活動として、自由活動を取り入れていて、子どもたちの興味のあるような活動を準備しています。しています。	・やってみよう気持ちを膨らませて、好きなあそびを見つけ、発展させていけるように支援していきます。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	・必要に応じて、その子の状況をよく理解した職員が参加しています。	・職員に聞き取りも行って、子どもの様子を話し合っており、最適な職員が参加していきます。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	・協力医療機関をお願いしています。必要に応じて、主治医からの助言も頂いています。	・保護者を通じて、主治医からの助言を頂いて支援していきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	・各学校に働きかけを行い、下校時間や学校行事などの情報を共有することは難しいので、保護者からの連絡を頂いています。	・下校時間等の変更は、保護者からの連絡が主となっています。学校との情報共有が出来るように、働きかけていきます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	0	・園や保育所に見学に行きます。、子どもの様子を見たり、先生からの情報を共有し、活動に繋げていきます。	・支援していくうえで、必要なことは、園や事業所に相談し、情報の共有と相互理解に努めていきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	0	・保護者の同意を得て、情報を提供しています。子どもの様子に合わせた支援内容を伝え、相談にもついています。	・見学に同行し、新しい場所への不安を少しでも減らせるような声かけ、支援を行い移行していきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	0	・職員の研修は、定期的に行い、外部研修にも参加しています。	・相談員を通して、交流活動を行っています。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	1	・粉河まつりの太鼓体験を通して、地域の人々や子どもたちとのかかわりを増やしていきます。	・地域の他の子どもとの交流の場を設けられるように、努力していきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	0	・機会があれば、研修などにも、参加しています。	・もっと積極的に参加していきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	・送迎時や連絡帳を用いて、伝えていきます。面談を行い、日頃の状況や変化を伝え、共有しています。	・保護者と子どもの発達や状況や課題について共有していきます。
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0	・保護者対象の学習会では、制度の変化や使い方、先輩保護者の経験談を聞かせてもらっています。	・たくさんの方に参加してもらい、より良い情報を提供できるように努力していきます。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	・年に一度、保護者説明会を行い、説明をしています。	・保護者からの問い合わせには、その都度、対応させていただきます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	・支援計画を作成するにあたって、保護者との面談を行い、子どもの意見や様子から、最善の支援計画を作成しています。	・子どもの誕生日に合わせて、面談を行っています。保護者からの課題を支援に繋げていきます。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	・支援計画の内容を確認して頂いて、同意を得ています。	・内容を確認して頂き、同意を得ています。より丁寧な説明を心掛けていきます。

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	・家族等からの悩み等に対する相談を受け入れ、面談を行い、支援してまいります。	・悩みに対する相談は、必要に応じて、相談員を通じて、各機関と連携して、支援を行ってまいります。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	6	0	・親子イベントや保護者交流会を行い、保護者同士の交流を行っています。	・保護者同士の交流を深めるため、活動を一緒に行ってまいります。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	1	・苦情についての対応は、迅速に対応してまいります。法人内での体制も整えています。	・苦情についての問い合わせ先を子どもや保護者に周知し、適正に対応してまいります。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	0	・月に一度のお便りと年に2回の法人の通信を発行しています。	・今後もたくさんの人に活動内容を知ってもらえるように発信してまいります。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	・個人情報の取り扱いについては、特に注意しています。	・個人情報の書類を持ち出さない。破棄する場合は、シュレッターにかける等を徹底的に行います。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	・できるだけ、分かりやすい表現を行い、理解してもらえるように、説明を行っています。	・簡単なマカトンを取り入れたり、視覚での情報伝達を行っています。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	0	・地域の人々に太鼓の演奏や体験、しめ縄作りを教えて頂いたりしています。	・地域の方々との交流の場を設けていきたいと思えます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	・各マニュアルを作成しています。 行事予定に組み込んで、避難訓練を行っています。	・各マニュアルを職員や家族に周知し、訓練も行っています。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	・子どもたちとの避難訓練を行事に取り入れ、職員の役割分担も確認してまいります。	・子どもたちとの避難訓練を行うとともに、職員の訓練も行っています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6	0	・保護者から情報を聞き、職員全員に周知しています。	・服薬については、職員が必ず確認を行っています。てんかん発作については、保護者からの情報を職員全員で理解し、確認しています。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	・保護者に食物アレルギーについてのアンケートを行い、職員で共有しています。	・必要に応じて、医師の指示書に基づいての対応をしています。食材を工夫して、みんなと一緒に食事を楽しめるようにしていきます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	・子どもたちが安全で活動できるように、設備を整えて、職員への研修や訓練を行っています。	・安全計画を作成し、安全管理に必要な研修を受け、環境を整えてまいります。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1	・家族から寄せられる不安に対しては、個々に対応してまいります。他の利用者への周知にも努めてまいります。	・支援計画に取り入れており、家族との連携が取れるように周知してまいります。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	・ヒヤリハットを作成し、職員全員で把握、共有し、再発防止のための話し合いを行っています。	・ヒヤリハットに基づいて、話し合い、ふりかえりを行っています。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	・職員研修を行い、虐待防止チェックリストを年に3回行っています。	・職員同士での声の掛け合いを行いながら、適切な支援を行っています。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	・やむを得ず、身体拘束を行う行為については、会議での話し合いを行い、支援計画に記載し、保護者にも説明しています。	・保護者に説明し、理解を得たうえで支援計画に記載し、適切な対応を行っています。	